



公明党千葉市議会議員団(稲毛区) 桜井ひでお 議会報告

さくら通信 No.8

千葉市議会議員
(公明党)桜井ひでお
議会報告
「さくら通信」第8号
2020年 臨時5月号

現在、新型コロナウイルスの影響で自粛中の皆様に、また社会生活を支えてくださっている皆様に、衷心より感謝申し上げます。

このたび千葉市では、4月21日、28日及び5月8日に令和2年度補正予算を専決処分で決定し、国会や千葉県においても補正予算が可決されたことにより、新型コロナウイルス感染拡大防止への各種対策が新たに展開しています。

そこで、今回のさくら通信は、千葉市や国、千葉県による様々な支援策とその問い合わせ先を、千葉市民、なかんずく稲毛区在住者の皆様が活用しやすいようにまとめ、お届けさせていただきます。

● 特別定額給付金(10万円一律給付金)の受付開始!

閣議決定後の土壇場で盛り込まれて、大変話題になった給付金事業が、いよいよ受付開始。4月27日時点で住民基本台帳に登録されている全ての方に支給されます。

オンライン申請: 15日から開始(5月下旬から振込開始)

郵送申請の申請書: 5月下旬から順次発送し、申請書受理後、

最短で2週間程度で振込予定

問い合わせ先: 千葉市特別定額給付金コールセンター

電話: 043-245-5854 (平日9時から17時まで)



● 千葉市における支援施策(国、県などの支援施策は裏面)

事業名	内容	問い合わせ先
事業者向け臨時相談窓口	事業継続・雇用維持の手続き支援	043-245-5898
テナント支援協力金	減免した賃料に対するオーナー支援	043-245-5898
飲食店のデリバリー対応支援	宅配代行業者利用等への費用助成	043-245-5066
クラスター防止協力金	感染患者の発生公表に対する給付金	043-245-5318
テレワーク推進	テレワークの推進補助・導入助言	043-245-5281
オンライン学習環境の整備	児童生徒世帯への端末等の貸与	043-245-5936
心のケア支援	電話相談の拡充、SNS相談の実施	043-204-1582

その他にも、感染症患者受け入れ病床を一般医療機関で10床確保し、軽症患者・無症状感染者の療養施設としてホテル(120室)を一括借り上げ

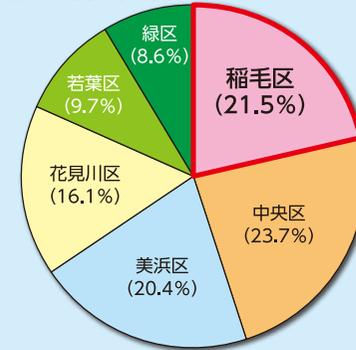
● 千葉市における感染状況(5月13日現在)

【千葉市による発表の概要】

①全体の概要

市内感染症患者	95名
入院中	19名
退院	70名
ホテル療養終了	2名
死亡	4名
男性3名(60代、70代、80代)	
女性1名(90代)	

②区別構成



【桜井独自の集計】

千葉市で連日発表されている感染症例をもとに、当方で以下のようにまとめてみました。

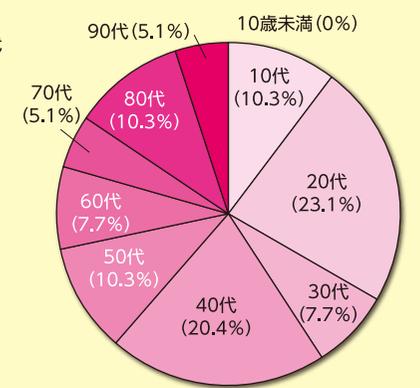
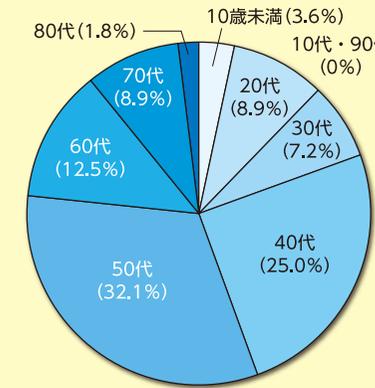
③年齢別構成(男女比は6:4)

男性: 56名

50代が当初から全体の3分の1を占め、現在も40代と50代で男性の半数以上

女性: 39名

20代が最も高い比率だが、以前ほど極端な特徴ではなく、全世代に拡大する傾向



■ 特徴(以下は、あくまでも桜井個人の「現時点」での見解です。)

- 市内感染状況は通じて質的な変化はなく、最もハイリスクな感染経路不明の感染クラスターが偏在している状態はない。4月下旬以降は減少傾向にある。
- 感染者における年齢別構成比では、特に50代の男性に継続的な特徴が認められる。
- 都内勤務者の感染リスクが高い。特に最初の30症例程度においては、市内人口の約9%しかいない都内勤務者が市内感染者数の半数以上を占めており、現在も高い水準になっている。(必ずしも通勤電車が感染源とは言えず、業務中やランチなどでの社内感染、同僚との帰路車内での対面会話による感染が疑われます。)
- 「発症時」症状としては発熱が最も多いものの、全体の5割から6割程度にしか過ぎないため、健康管理や病識で発熱に偏るのは危険で、咳や全身倦怠感なども注意すべき。(約4割は発症時に発熱症状がありません。)
- 千葉市内の市立学校では、独自の預かり事業や登校日を設けてきたが、学校や友人が感染経路になった形跡はなく、10代感染者の感染経路は学校や友人というより、家族からの感染の可能性が高い。

※データや見解の詳細は、ホームページで随時掲載しています。



市政に関してのご要望や地域の課題など、ご意見をお寄せください

公明党 千葉市議会議員団 桜井ひでお

FAX: 043-245-5584

SNSは 桜井ひでお

<http://www.komei.or.jp/km/chibacity-sakurai-hideo/>

